

# 公開講座

## 原発と環境問題 —その原況と今後の課題—

福島第1原発事故からすでに2年半。放射能汚染はリアルタイムですすみ、いまだに予断を許さない状況です。これを科学者は「運を天にまかせる心境」とまで表現しています。

どうすればこの未曾有の危機を切り抜けることができるか—過去幾多の放射能被害を受けた日本が、いかに抜本的な対策を講じて、人類の「明るい未来」に向けて、世界の放射能汚染ゼロを目指して発進できるか？

参加の皆さまと共に考えてまいりたいと思います。

1949年東京下町生まれ。京大原子炉実験所助教。

原子力の平和利用を志し、1968年東北大工学部原子核工学科に入学。研究につれてその危険性に気づき、放射線被害を受ける住民の側に立って活動。原子力の専門家としてその危険性を訴え続けている。

専門は放射線計測、原子力安全。

『隠される原子力・核の真実

—原子力の専門家が原発に反対するわけ』（創史社）、

『この国は原発から何を学んだのか』（幻冬舎）、

『熊取六人組』（岩波書店）他、著書多数。

小出裕章 氏



《写真撮影》松岡広樹

日時 2013年 12月1日（日） 午後1時～3時30分  
（討議タイムあり）

場所 天理教 大阪教務支庁 1階北集会場  
大阪市天王寺区小宮町9-18 (TEL 06-6771-0012)

（ 大阪けいさつ病院西隣・天王寺区役所筋  
・地下鉄谷町線「四天王寺夕陽ヶ丘」駅徒歩東へ10分  
・JR「桃谷」駅徒歩西へ15分 ）

講師 小出裕章 氏（こいで・ひろあき）京都大学原子炉実験所助教

※関心ある方は、教内外問わずご来庁下さい。（無料・駐車可）

大阪教区福祉部（環境問題）